

3学期終業式 講話 ■令和5年 1月10日

No.26 「 」

新年あけましておめでとうございます。

校長先生の言葉は、皆さんの心に届いていますか？

冬休みはいかがでしたか？クリスマス、お正月、田舎のおばあちゃんの家にとったり、いとこと遊んだりしたことと思います。どんな楽しいことがあったかを教えてください。

さて、次の文の（ ）に言葉をいれてみましょう。

一年の計は（ ）にあり。

そう「元旦」ですね。「一年の計画は年の初めである元旦に立てるといいですよ。」という意味です。皆さんは、今年一年の予定や目標をたてましたか？

ただ、校長先生は前々からこの言葉に少し違和感をもっていました。というのも、いきなり目標や計画って普通はたてません。なにかやるべきことがあって、それにむかって計画をたてたり、目標をつくったりします。計画の前にやるべきことを書いた言葉はないかとさがしていますと、ありました！昔の本で、

一年の（計）は（元旦）にあり。

一年の（ ）は（ ）にあり。

こんな言葉をみつけました。うしろの（ ）はわかりますよね。少しまわりの人と相談してみてください。ヒントは「元旦の前」です。

そう、正解は「大晦日」です。

では前の（ ）には何が入るのでしょうか？

少し周りの人と聞き合ってみてください。ヒントは「計画の反対というか、計画を立てるまえにすべきこと。」です。それは

一年の（数）は（大晦日）にあり。

昔の本にこう書いてありましたが、またまた問題発生ですね。

一年の「かず」は大晦日にありでは意味が通りません。そう「かず」とは読まないだと校長先生は考えました。

さて、この文章、なんと読めばいいのでしょうか？少しまわりの人と聞き合ってみてください。

なかなか正解にたどりつきませんね。

今日のお話はここまでです。

ということで、今週のお題は

「一年の数は大晦日にあり」この「数」をどう読むかです。これかなあと思ったひとはボードに書きにきてください。

今日も最後まで聞いていただきありがとうございます。ありがとうございました。